

「まあ、いいか」 では困ります



不燃ごみは、 正しく 分別して 出しましょう

原山焼却場 ☎68-6013

家庭から出される不燃ごみの中には、燃えるごみや資源ごみがたいへん多く含まれています。

そこで、10月7日から、不燃ごみとして出されたごみをベルトコンベヤーと手作業で、不燃ごみと金属製品類と燃えるごみに分ける作業を開始しました。金属製品は再資源化し、燃えるごみは焼却処分します。

ごみを出す時は、各家庭で正しく分別していただくことになっていますが、燃えないごみ袋の中には、再資源物になる空きびん、空き缶等が約50缶、燃える物が約20缶含まれています。

この燃えないごみは、今までは、すべて埋め立て処分をしていましたが、最終処分場が満杯に近いので、新しい処分場ができるまですべて埋め立てをしていると、いずれ街にごみがあふれ出てしまいます。

皆さんが、ごみステーションにごみを出す時、もう一度、正しく分別していただくことは、作業の軽減化だけではなく、現在の埋立場を1日でも長く使用できることになります。

ごみを出す時、もう一度確認して正しい分別排出にご協力ください。



ごみの正しい 分別の仕方

①資源になる物

(リサイクルできる物)

空き缶、空きびん、段ボール・雑誌等の古紙類、古着類、金属製品類、乾電池類など

②燃えないごみ

(リサイクルできない物)

蛍光灯・電球類、コップ・板ガラス・鏡類、陶磁器類、灰など

③燃えるごみ

台所ごみ、紙くず、ビニール・トレイ・洗剤容器類、ラップ、履物類、木くず、カーペット類など

④粗大ごみ

(家庭生活で発生した物)

タンス等の家具類、電気製品類、自転車など

※事業所の粗大ごみは、ステーションには出せません。事業者が直接持ちこむようにしてください。



お願い

不燃ごみを手作業で仕分けするのは、たいへん危険がともないます。正しい分別排出を必ず実施してください。

